



東北ハイテク研産学連携セミナー

秋田県におけるスマート農業取組の現状

「本セミナーは、農林水産省が実施する「知」の集積による産学連携支援事業により行われます。」

I 趣 旨

本年度から農林水産省の「スマート農業加速化実証プロジェクト」が全国 69 地区、東北地域 10 地区で実施されています。日本農業の今後の展開を支える技術として、スマート農業に対する農業者の注目度は非常に高いものがあります。秋田県においても、大規模水稻・大豆輪作を実施する集落営農型法人と大規模園芸団地における露地小ギクの計画安定出荷に関するスマート農業技術の実証が行われています。

しかし、スマート農業に対する農家の理解は、まだまだ十分なものとは言えません。そのため、スマート農業セミナーを開催し、すこしでも多くの方々にスマート農業技術開発の現状と現場での利用実態・課題に関する情報を共有することを目指します。

II 日 時 : 令和元年 10 月 30 日 (水) 13:00~16:30

III 場 所 : 秋田カレッジプラザ・講堂
〒010-0001 秋田市中通 2 丁目 1-51 明德館ビル 2 階

IV 主 催 : 農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会
秋田県立大学

後 援 : 公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

V 内 容

1. 挨拶 (13:00~13:10)

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会 事務局長
秋田県立大学生物資源科学部学部長・教授

門間 敏幸
金田 吉弘

2. 講演 (発表 20 分 質疑 5 分)

司 会 秋田県立大学生物資源科学部学部長・教授 金田 吉弘 (かねた よしひろ)

(1) GNSS 自動操舵田植機を利用して八郎湖の水質改善へ (13:10~13:35)

秋田県立大学生物資源科学部 客員教授 矢治 幸夫 (やじ ゆきお)

(2) ドローンを活用した果樹 (サクランボ、リンゴ) 受粉作業への適応事例紹介 (13:35~14:00)

東光鉄工 (株) 取締役 UAV 事業部 シニアマネージャー 鳥潟 興明 (とりがた ともあき)

(3) 果実の収穫適期定量判定アプリの開発~収穫時の目視判定を定量評価に~ (14:00~14:25)

秋田県立大学システム科学技術学部情報工学科 准教授 石井 雅樹 (いしい まさき)

ポスター説明時間 (14:25~15:05)

(4) AI を活用したトマトハウス栽培での病害発生予測システム (15:05~15:30)

(株) 池田 G&A 事業部事業支援部 係長 米山 雅宗 (よねやま まさのり)

(5) AI を利用した肉用牛管理への取り組み (15:30~15:55)

秋田県立大学生物資源科学部フィールド教育研究センター 准教授 渡邊 潤 (わたなべ じゅん)

3. 意見交換 (15:55~16:30)

<ポスター展示> (説明時間 14:25~15:05)

- (1) 低コスト・自作可能なハウス温度遠隔監視システム 農研機構・東北農業研究センター
- (2) スマート農業実証プロジェクト「東北日本海側1年1作地帯の大規模水稻・大豆輪作集落営農型法人におけるスマート農業による生産性の実証」(大仙市・(農)たねっこ)
農研機構・東北農業研究センター
- (3) スマート農業実証プロジェクト「先端技術の導入による計画的安定出荷に対応した露地小ギク大規模生産体系の実証」(男鹿市・園芸メガ共同利用組合)
秋田県農業試験場
- (4) 秋田から農業の未来を切り拓く「次世代農工連携拠点センター(仮称)構想」
秋田県立大学

VI 参集範囲 : 生産者、試験研究機関、民間、大学等スマート農業に興味のある方
参加費は無料です

VII 参加申し込み先 : 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会(事務局:藤井)
電話 080-2806-9926 FAX 019-643-3588
E-mail: tohoku-hightech@kej.biglobe.ne.jp